

阿武隈急行線在り方検討会

令和 6 年 8 月 5 日

1 阿武隈急行線在り方検討会の設置

人口減少による利用者の減少に加え、度重なる自然災害やコロナ禍の影響、さらには、施設の老朽化に伴う修繕費の増加等により、厳しい経営状況にある阿武隈急行線について、赤字拡大を抑制するための抜本的な経営改善方策等について議論するため、「阿武隈急行線在り方検討会」を設置

阿武隈急行線沿線地域公共交通協議会 (平成30年4月設置)

[目的]

- ・地域公共交通活性化再生法に基づく**法定協議会**
- ・阿武隈急行線地域公共交通網形成計画（法定計画）の策定（令和元年7月）、進行管理等

[構成]

会長：福島大学 吉田樹准教授
委員：阿武隈急行、交通事業者、住民代表、学識経験者、道路管理者、公安委員会、沿線自治体、東北運輸局等

報告



設置

【分科会】

阿武隈急行線在り方検討会

専門的な調査・検討依頼

- 台風災害、地震災害、コロナ禍等により**経営健全化計画策定の見通しが立たない状況**
- 阿武隈急行線の経営に係る抜本の見直しのため、**専門的な調査・検討が必要**

抜本的な経営改善策等を提案

阿武隈急行線再生支援協議会 (平成17年2月設置)

[目的]

- ・経営健全化計画の策定
- ・経営健全化計画に基づく経営支援（公費負担）の協議

[構成]

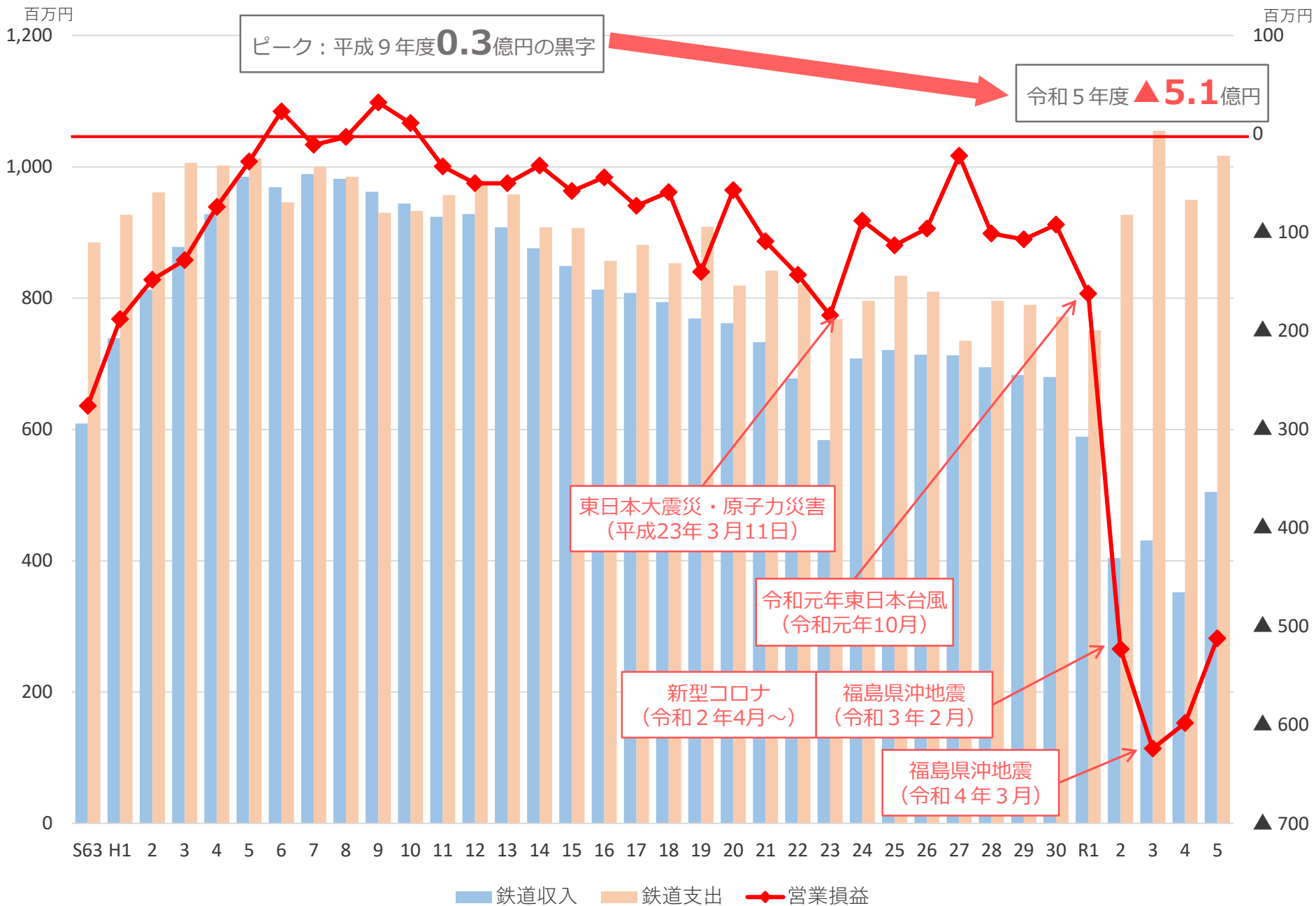
会長：伊達市長
委員：阿武隈急行、沿線自治体

【検討事項】

- ①原因解明
- ①増収策（利用促進策等）
- ②経営体制の変更（上下分離方式等）
- ③民間人の常勤役員起用
- ④輸送モードの合理化（バス転換等）
- ⑤運行ダイヤの合理化
- ⑥車両更新数
- ⑦経常経費の妥当性
- ⑧その他経営改善に資する取組

- 令和7年3月までの約2年間で順次結論を取りまとめ
- 提案事項は、経営健全化計画等へ反映され、阿武隈急行(株)が履行することを沿線自治体の支援継続の要件とする

2 阿武隈急行（株）業績の推移



3 阿武隈急行線輸送人員の推移

